

【草花の部屋】

ツノゲシ(ケシ科ツノゲシ属 *Glaucium flavum*)

和名：ツノゲシ(角芥子、角罌粟) **別名**：ホーンド・ポピー

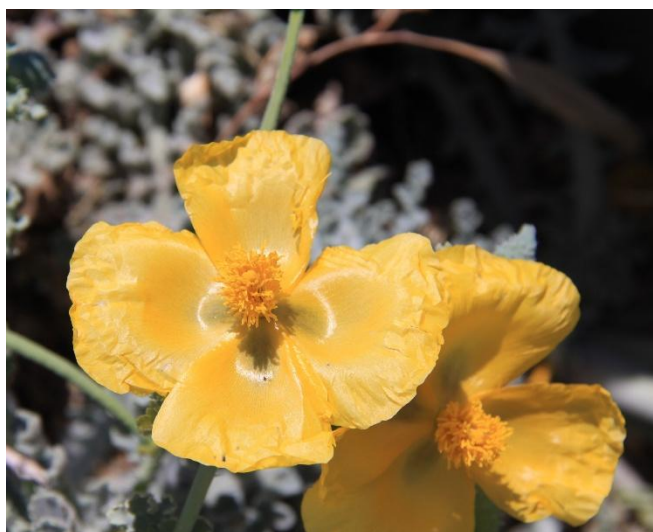
英名：Yellow Horned Poppy

キンポウゲ目 多年草 **原産地**：南ヨーロッパ

花言葉： **花の色**：黄、橙色



←↓ 写真-1、2 ツノゲシ
撮影日：2018年04月25日
撮影場所：サントリーニ島
(ギリシャ)にて
撮影者：M さん



← 写真-3 ツノゲシの花
撮影日：2018年04月25日
撮影場所：サントリーニ島
(ギリシャ)にて
撮影者：M さん

サントリーニ島で宿泊したホテルの庭を散策中にみかけました。ヨーロッパ原産で黄色い花を咲かせ、和名はケシ科で果実は鞘が長く、牛の角の形に似ていることから名付けられ、英名のホーンド・ポピーは角のある(Horned)、ポピー(Poppy、ケシ)からだそうです。

観賞用として花壇に多く植えられているようです。茎は直立して分枝し、枝端に

橙黄色または橙赤色の花を一輪、咲かせます。花弁は4枚で雄蕊は多数あります。角(つの)状で長い果実をつけます。

栽培は容易ですが、直根性なので移植を嫌います。排水のよい、日の当たる肥えた土でよく育ち、秋または春に花壇に直接種子を播いて育てます。茎・葉にはアルカロイドが含まれ有毒ですが、角は絞って油や、食用や薬用に使えるそうです。